

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	設計方法小委員会	主 査 名：本江 正茂 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：山田 哲弥
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築・都市・環境の設計方法に関わる理論や実践を広く調査・収集・整理・体系化することにより、それらの成果を広く会員に敷衍させ、設計・デザインの質的向上に貢献する活動を継続的に行う。</p> <p>2016 年度：設計・デザインの方法論に関する書籍の刊行準備、「新しいデザイン潮流」に関連する事例収集・調査研究活動、デザイン関連他学会との連携 (Design シンポジウム 2016 の開催)</p> <p>2017 年度：設計・デザインの方法論に関する書籍の刊行に関連した公開研究会の開催、「新しいデザイン潮流」に関連する事例収集・調査研究活動、デザイン関連他学会との連携</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	本江正茂 (東北大学) 脇坂圭一 (名古屋大学) 山田哲弥 (清水建設(株)) 遠藤政樹 (千葉工業大学) 大西康伸 (熊本大学) 近藤伸亮 (産業技術総合研究所) 武田有左 ((株)山下設計) 仲隆介 (京都工芸繊維大学)	長坂一郎 (神戸大学) 日色真帆 (東洋大学) 門内輝行 (京都大学) 和田浩一 (職業能力開発総合大学校) 渡邊朗子 (東京電機大学) 山口純 (立命館大学) 羽鳥達也 ((株) 日建設計)
設置 WG (WG 名：目的)	<設計方法レビューWG>主査：日色真帆 (9 回/年程度) *設計方法に関する理論、用語、手法等を集成し、これまでの設計方法研究の流れを位置づけ、新しい動向を捉えたレビューを行う。それらの成果を、書籍としてまとめて刊行し、設計方法の教育にも資するようにする。	
2016 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s7/">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s7/</a>

項 目	自 己 評 価	
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	Design シンポジウム 2016	参加者数 102 名
大会研究集会		
対外的意見表明・パブリックコメント等		

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員会の開催：年間 8 回（目標 8 回）</li> <li>2. 活動テーマ・対象建物 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 設計方法に関する理論、用語、手法等の集成</li> <li>2) 「新しいデザイン潮流」に関連する事例収集・調査研究活動</li> <li>3) 設計・デザインの方法論に関する書籍の刊行準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計方法研究の流れを位置づけ、新しい動向を捉えたレビューを行うため、各委員の研究動向を中心に議論を進めた。設計方法の教科書の原稿の分担執筆を進め、毎回レビューをおこなった。</li> </ul> </li> <li>4) デザイン関連他学会との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Design シンポジウム 2016 を開催した（日本機械学会、日本設計工学会、精密工学会、日本デザイン学会、人工知能学会との共催）</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>小委員会ホームページの活性化に向けて、内容を充実する。 メンバー増員に向けて、公募を検討する。</p>